

SHARP®

操作早見表

1ビットシアターラックシステム

エイ エヌ ティー
形名 **AN-45T1**

使用する部品がすべてそろっているか、お確かめください。

ガラス扉組立用部品一式 ヒンジ(A) × 1 クッションシート × 1 ヒンジ(B) × 1 飾り金具 × 1	ガラス扉 × 1	天板ガラス × 1
壁当て用部品一式 当て板 × 2 当て板金具 × 4	棚板受用ダボ × 4	棚板 × 1
転倒防止用部品一式 本機用ネジ(M6, 12mm) × 2 ワッシャー × 4 テレビ用ネジ(M6, 30mm) × 2	ワイヤー × 2	耐震マット × 4

ご注意

- 移動させる場合は、ネット部分に手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
- 本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線など外部の接続コード、転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。
- 本機の上にテレビやその他の機器を載せたまま移動しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ガラスは強化ガラスを使用していますが、とがった物を落としたりぶついたりすると割れることがありますのでご注意ください。
- ガラス扉ヒンジのネジが緩んでいないか時々点検し、緩み始めたら締め直してください。ガラス扉のズレが生じた場合は、ガラス扉ヒンジのネジで調整してください。
- 棚受用ダボは確実に取りつけてください。中途半端な取り付けでは、棚板がはずれて物が落ち、破損やけがをすることがあります。

はじめに、本機に棚板やガラス扉などを取りつけましょう

取りつける前に

- 本機は非常に重いので、持ち運びなどの作業は必ず2人以上で行ってください。腰を痛めたり、けがや故障の原因となることがあります。
- 安全のために、手袋を着用してください。

用意する工具

プラスドライバー

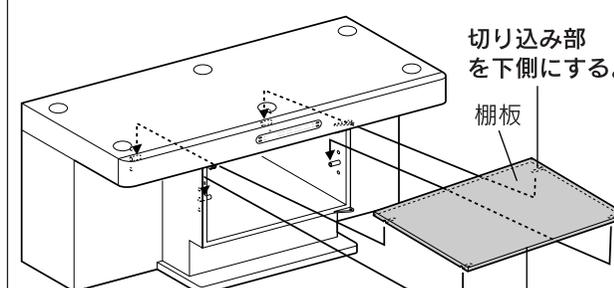
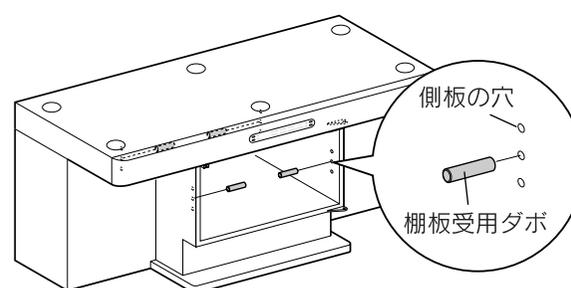


1

棚板を取りつける

1 棚板受用ダボ(4個)を側板に差し込む。

2 棚板を棚板受用ダボの上に載せる。



- 設置する機器に合わせて、高さを調整できます。(3段階)
- 前後、左右同じ高さとなるように取り付けます。

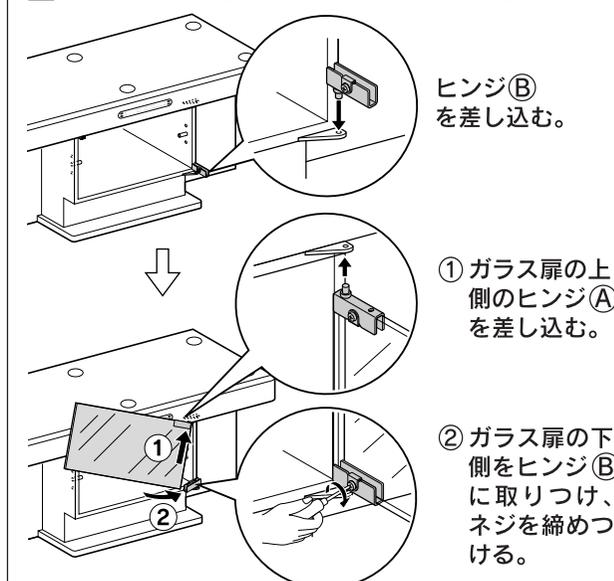
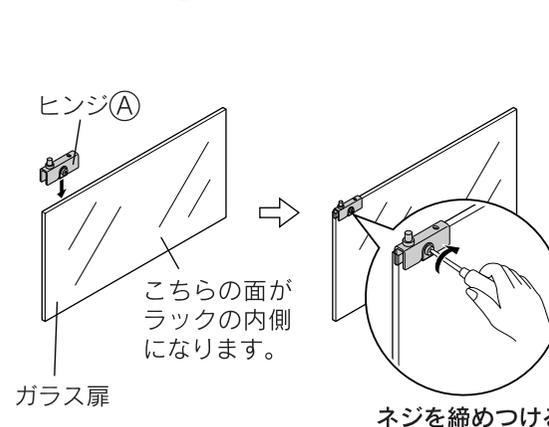
切り込み部を
下側にする。
棚板
化粧面を
前側にする。

2

ガラス扉を取りつける

1 ガラス扉の上側に、ヒンジ(A)を取りつける。

2 ガラス扉をラックに取りつける。



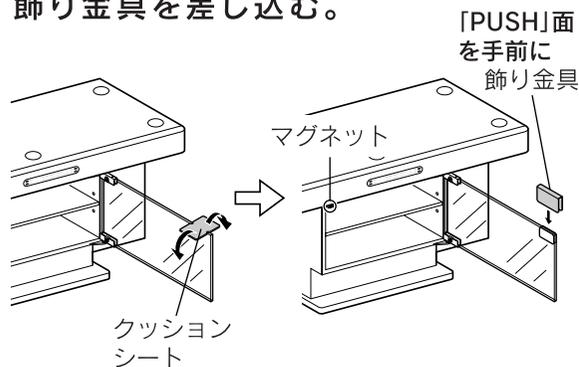
ヒンジ(B)を差し込む。

① ガラス扉の上側のヒンジ(A)を差し込む。

② ガラス扉の下側をヒンジ(B)に取りつけ、ネジを締めつける。

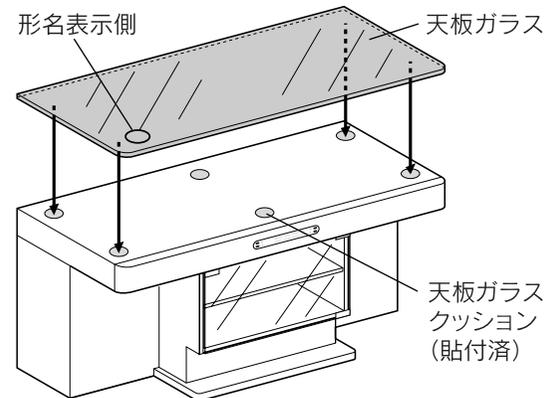
3 飾り金具を取りつける

マグネットが当たる位置に合わせてクッションシートを貼りつけたあと、飾り金具を差し込む。



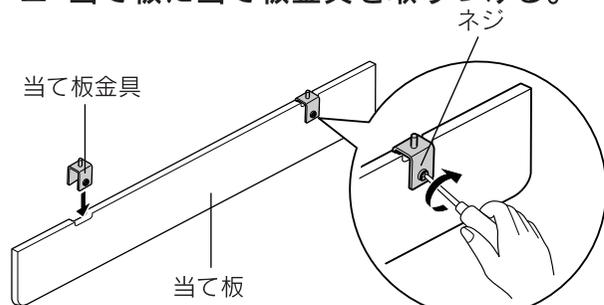
4 天板ガラスを天面に載せる

この作業は2人以上で行ってください。



5 当て板を取りつける

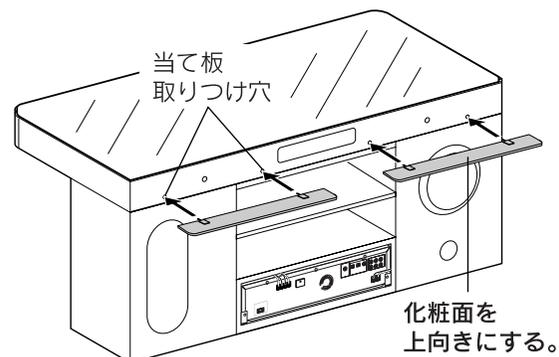
1 当て板に当て板金具を取りつける。



ネジを締めつける。

当て板金具のネジ側の部分が当て板の化粧面でない側になるように取りつけてください。

2 当て板をラックに差し込む。



移動するときは、当て板を持たないでください。

6 本機やテレビなどを設置する

1 本機を部屋に設置する。



テレビやDVDプレーヤーなどを設置したり、接続したりするときは作業スペースを確保のうえ、設置してください。(設置するときは、2人以上で行ってください。)

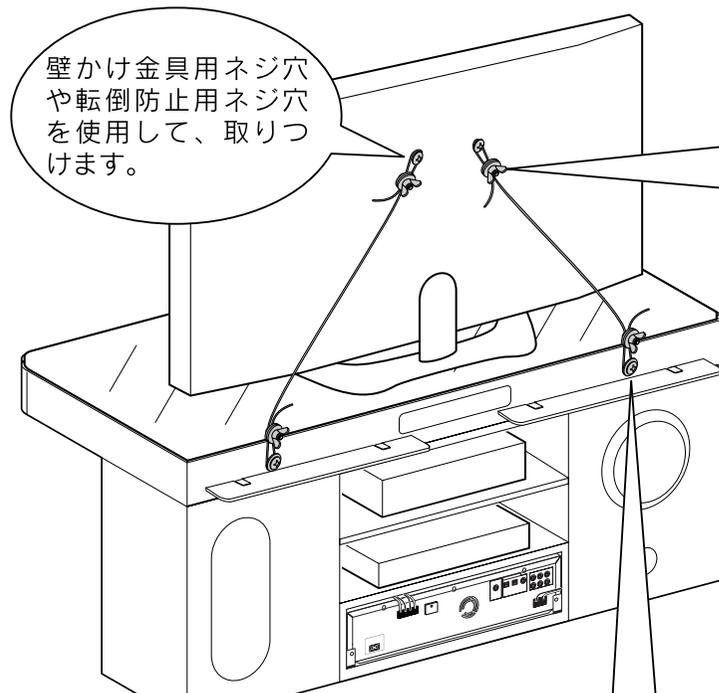
2 テレビやDVDプレーヤーなどを設置する。



テレビの脚形状により、付属の耐震マットが使えないときは、市販の耐震マットを使用してください。

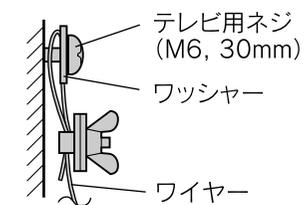
7 転倒防止用ワイヤーを取りつける

テレビを設置するときは、不意の地震のときや、お子様がテレビや本機に登ったり、ぶらさがったり、揺すったりしますと、倒れてけがをする恐れがあります。本機に同梱のテレビ転倒防止用ワイヤーを使用して、転倒防止策の実施をお願いします。

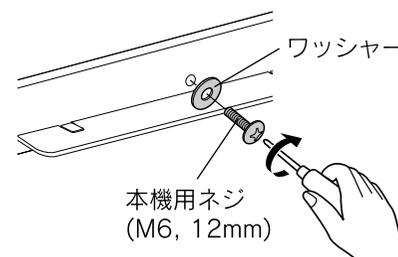


1 テレビ本体にワッシャーとテレビ用ネジを取りつける。

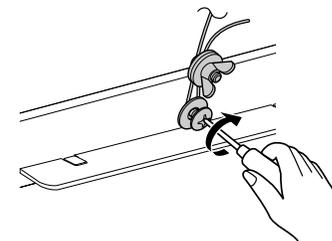
2 ワッシャーのすきまにワイヤーをかけて、テレビ用ネジを締め直す。



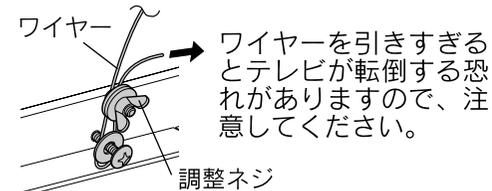
3 転倒防止用ワイヤー取付部にワッシャーと本機用ネジを取りつける。



5 本機用ネジをしっかり締めて固定する。



4 ワッシャーのすきまにワイヤーをかけて、ワイヤーがたるまない程度にワイヤーを引っ張り、調整ネジを締める。



6 4つの調整ネジをしっかり締め直す。

お知らせ.....

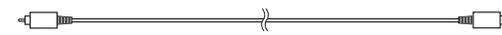
• 付属のテレビ用ネジが使えないときやテレビに取り付け用ネジ穴がないときは、ご使用のテレビの取扱説明書をのらんのうえ、転倒防止策の実施をお願いします。

本機を操作する前に、テレビやDVDプレーヤーなどを接続しましょう

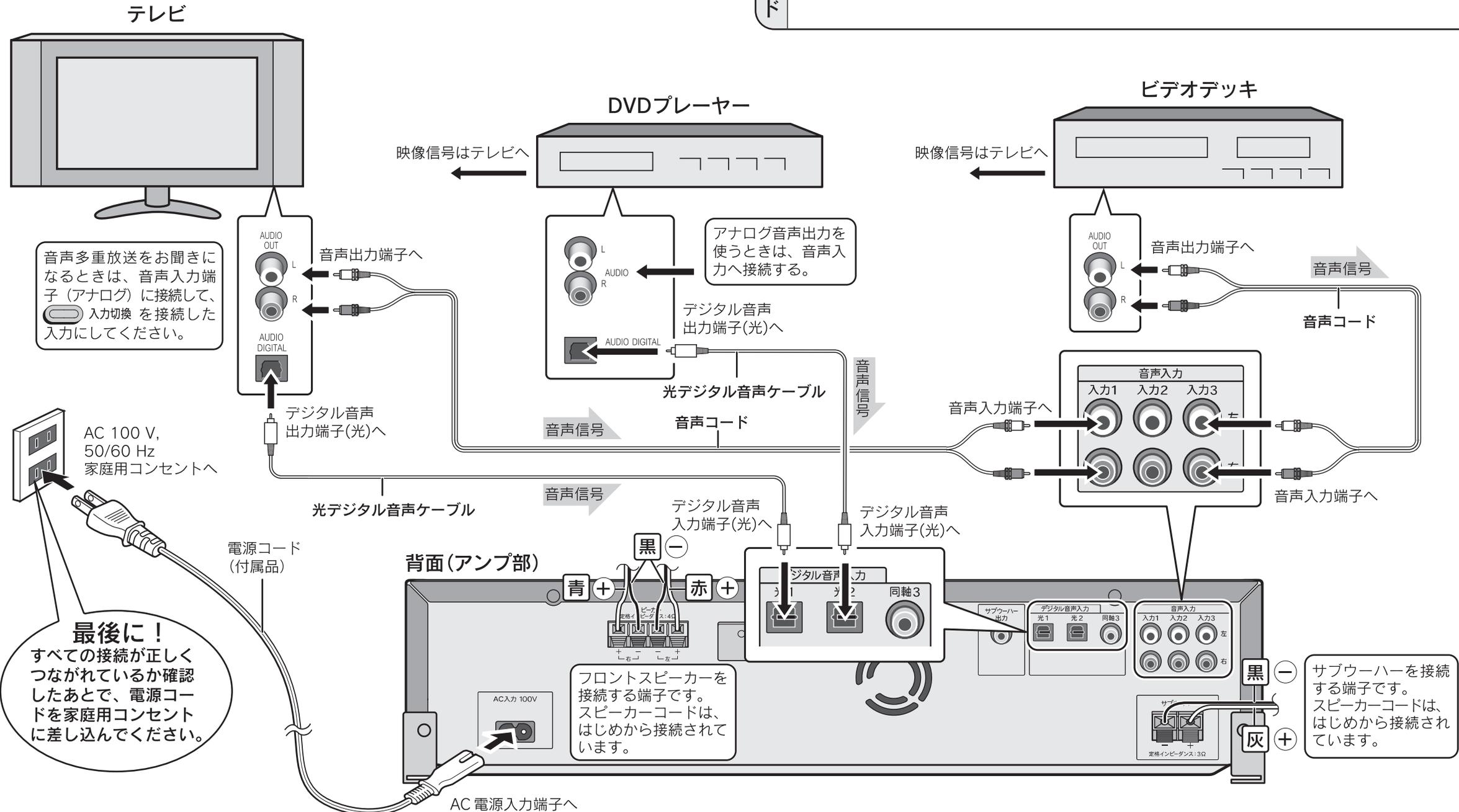
接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。
また、それぞれの機器の取扱説明書もよくごらんください。

使うコード

光デジタル音声ケーブル（付属品または市販品）

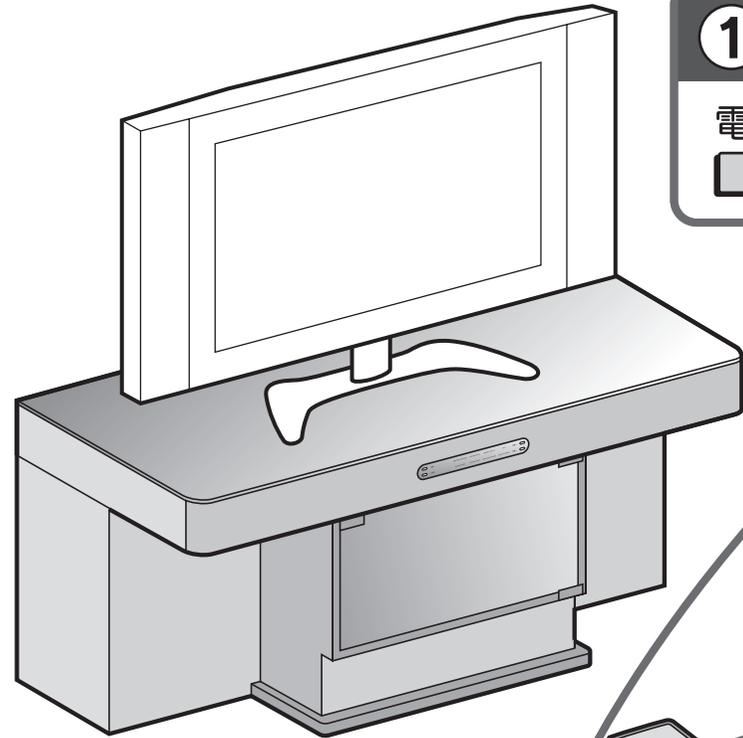


音声コード（付属品または市販品）



最後に！
すべての接続が正しくつながれているか確認したあとで、電源コードを家庭用コンセントに差し込んでください。

テレビやDVD、ビデオなどの音を聞いてみましょう



① 電源を入れる。

電源



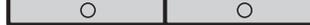
- つないだ機器の電源も入れてください。
- もう一度押すと、電源が切れます。

② 再生する機器に合わせて、入力を選ぶ。

デジタル入力1 デジタル入力2



デジタル入力3 LINE入力

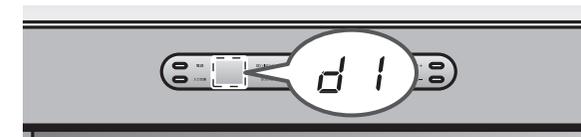


デジタル入力1 **d 1**

デジタル入力2 **d 2**

デジタル入力3 **d 3**

- デジタル入力は、それぞれのボタンを押します。(デジタル入力に信号がないときは、表示が点滅します。)
- LINE入力は、くり返し押します。



LINE入力1 **L 1**

LINE入力2 **L 2**

LINE入力3 **L 3**

③ つないだ機器を再生する。

操作手順などにつきましては、それぞれの機器の取扱説明書をごらんください。

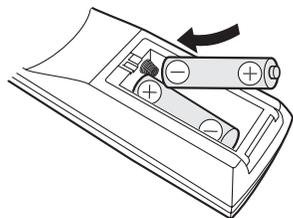
音量の調整

サブウーハー
レベル
音量

+ 大きくなる

- 小さくなる

乾電池の入れかた



- 乾電池の方向に注意して入れてください。
⊕、⊖をまちがえると、故障の原因となります。
- リモコンには充電電池（ニカド電池など）を使用しないでください。充電電池では正しく動作しません。

プリセットサウンドモードで、いろいろな音を楽しんでみましょう。

最適な音質となるように、推奨するレベル値に調整された6種類のプリセットサウンドモードの中から、お好みのサウンドモードを選んで楽しみましょう。

サウンド

モード

をくり返し押して、聞きたいサウンドモードを選ぶ。



STANDARD

S d

標準のステレオモードです。

CINEMA

C i

映画などに適したモードです。

ANNOUNCER

A n

ニュースなどに適したモードです。

SOUND

S o

音楽などに適したモードです。

SPORTS

S p

野球やサッカーなどのスポーツ中継に適したモードです。

LATE

L a

映画などの音を深夜に小音量で聞くとときに適したモードです。

このほかにも「ドルビーバーチャルスピーカー (DVS)」や「オーディストリー」のモードを使って、いろいろな音を楽しむことができます。くわしくは、取扱説明書 (29 ~ 34 ページ) をごらんください。